

(参考様式 4 - 1)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
下稲葉地区活性化計画 改善計画書

| | | | | |
|-------------------|------------------------|-----|-----------------------|-----------------------|
| 都道府県名 | 計画主体名 | 地区名 | 計画期間 | 実施期間 |
| 栃木県 | 栃木県・壬生町 | 下稲葉 | 平成 26 年度～ 平成 28 年度 | 平成 26 年度～ 平成 27 年度 |
| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 | |
| 基盤整備 (農用地等集団化) | 経営体育成促進換地等調整 262 ha | | 壬生町 | |
| 基盤整備 (地形図作成) | 地形図作成 308 ha | | 壬生町 | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値 A | 実績値 B | 達成率 (%) B / A | 備 考 |
|--------------------|-------|-------|------------------|-----|
| 定住等の促進に資する基盤整備の円滑化 | 1 年 | 2 年 | 未達成 | |

2 目標が達成されなかった要因

区画整理事業の着手までの年数（1 年）の目標値に向けて、道路や用排水路の計画路線上の 2 名から事業の同意を得られなかったため、説得交渉を進めてきたが、計画期間中の合意に至らず、計画期間中に区画整理事業の採択申請を行うことができなかった。

3 目標達成に向けた方策

| | |
|----------|--|
| 目標達成予定年度 | 平成 29 年度 |
| 事業の推進体制 | 下稲葉地区圃場整備推進協議会 |
| 具体的取組方策 | 未同意者の所有地を地区除外し、見直した道路や用排水路の整備計画により地域の合意形成を図り、区画整理事業に着手することとした。 |

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)
未同意者の所有地を地区除外し、整備計画を見直すことは、事業着手に向け効果的であると思います。
目標である 29 年度の事業着手に向け、関係地権者の合意形成を図るためには、丁寧な説明が必要であると考えます。